

平成 2 2 年度
技術監理室予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 2 年度技術監理室予算要求総括表 1
- 2 平成 2 2 年度技術監理室経営方針 2
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの 3
- 4 事務事業の見直し等 4

1 平成22年度技術監理室予算要求総括表

【一般会計】

平成22年度要求総額 108,208千円
 (平成21年度予算額 93,881千円)
 前年度比 +15.3%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成22年度 予算要求額 A	平成21年度 予算額 B	増 減 A - B
技術管理関連業務	71,135	74,682	3,547
建設材料試験場 管理運営事業	10,725	11,289	564
新 建設材料試 験場空調機器更 新事業	17,600	-	17,600

2 平成22年度技術監理室経営方針

技術監理室は、建設行政の様々な課題に対し、建設系事業部局を技術面や人材面などを含めて総括的に支援・指導する組織です。

平成22年度も、公共工事の品質確保や、建設行政コストの抑制などに取組んでいきます。

(1) 公共工事の品質確保

- ・公共工事の適正な執行を図るため、設計単価の設定及び設計積算基準等の整備、更新に取り組めます。 技術管理課
- ・公共工事の発注に際しては、価格に加え品質を高めるための創意工夫や施工実績などの要素を評価して落札者を決定する総合評価方式の入札の拡充を図ります。 技術企画課
- ・公共工事の設計、施工のチェック機能を的確に発揮し、公共工事の品質・安全性の確保・向上を図ります。 検査課・指導課

(2) 環境に配慮した公共工事の推進

- ・公共工事における、建設廃棄物の資源化やリサイクル製品の普及促進及び環境等の保全に向けた取組みを行います。 技術企画課・指導課

(3) 公共施設の維持管理コストの縮減

- ・安全性や市民サービスの確保を前提に、公共施設の保守点検費や運用費などを見直し維持管理コストの縮減に取り組めます。 技術企画課・技術管理課

(4) 公共工事のコスト縮減

- ・新たに策定した公共事業コスト構造改善行動計画に基づき、工事コストの縮減のみではなく、品質も重視した取組みを行います。 技術企画課

(5) 職員8千人体制に向けた人材育成

- ・少数精鋭組織を担う人材育成に取り組めます。 技術企画課

3 重点的に取り組みを行う主なもの

- (1) 市場動向を適切に反映した工事資材単価の設定と、スライド条項の円滑な適用の推進により、適正な工事価格の設定に努めます。技術管理課
- (2) 総合評価方式の入札を各事業部局に普及し拡充を図ります。技術企画課
- (3) 安全点検や中間技術検査などを行う施工監理型検査の充実と監督課点検の徹底を図り、公共工事の品質確保の向上を図ります。検査課
- (4) 公共施設の維持管理コストの縮減を図るとともに、維持管理計画の策定を促進させ、計画的維持管理への転換を図り、既存施設の有効活用や、長寿命化を促進します。技術企画課・技術管理課
- (5) 実習形式の研修を重点的に実施し、より実務に即したノウハウの習得を図り職員の技術力維持向上に努めます。技術監理室各課

89,342千円

4 事務事業の見直し等

(1) 事務費の見直し

業務内容を精査し、委託業務の仕様等の見直しを行いました。

〔見直し額 3,547千円〕

(2) 施設の維持管理費の節減

建設材料試験場運営経費の削減を図りました。

〔見直し額 564千円〕